

第 39 回運営委員会 10 月 17 日（火）18:30～22:00

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室
  - ◆ 出席委員：新野・石田・三宮・武本・渡辺（五）・渡辺（丈）委員…6 名
  - ◆ オブザーバー：保安検査官事務所／金城所長 地域担当官事務所／沼田所長  
東京電力／長野室長・守課長
  - ◆ 事 務 局：柏崎市／藤巻主任 広報センター／押見事務局長・木村
- 

次回以降定例会内容について

〔第 4 1 回〕 11 月 1 日（水）

➤ 東電より

- ・ 耐震関連の計画書の提出は近日中にできる。11 月の定例会で説明させてもらいたい。説明時間は 20 分程度。
- ・ 耐震安全性評価について、どのようなスケジュールでどういうことをチェックしていくかということ、報告できる。

➤ 保安院より

- ・ 指針改訂の説明と指示に関して保安院でまとめて説明する。説明は 30 分かからない程度。
- ・ 説明資料は当日別途用意するが、60 ページほどの参考資料を配付する件について相談したい。

↓

参考資料が必要な人は申し出てもらうということでもいいのではないか。

➤ 委員意見

- ・ 耐震指針関連の説明と質疑で 1 時間半くらいかかるのでは。
- ・ 前回以降の動きについては 7 時くらいをめぐりに。
- ・ 9 日の北朝鮮の核実験で、テロ訓練が中止になった事についても触れたほうがいいのか。
- ・ ヨウ素剤の学校配布を決めたということで、その辺の報告もしてもらったほうがよい。

➤ 決定事項

- ・ 耐震指針改訂関連について、保安院より 30 分、東電より 20 分程度の説明の後、質疑。全体で 1 時間半程度。保安院からの参考資料については、必要な人に配布することとする。
- ・ 前回以降の動きの中で、新潟県からは核実験に伴う対応、柏崎市からはヨウ素剤の件を含めた防災対策の話に触れてもらう。地下探査の件は、途中経過を東電より報告。
- ・ 県、市への説明要請は市の担当者からしてもらう。

〔第 4 2 回〕 12 月 6 日（水）

➤ 保安院より

- ・ 前回定例会でも定期検査のあり方についての質問が多くあがっていたこともあり、どこかで一度、個別論に入る前に、高経年化を含めて議論をする必要があるのでは。
- ・ 定検に関して、機械学会で一方向的に言われていること等はあるが、保安院のほうで認めているわけではない。説明することは可能。
- ・ わかりやすい検査と、より安全性を確保する検査とは必ずしも一致しないところがある。今は安全性を確保するためにはどうしたらいいかという方向でやっている。

- 東電より
  - ・ 不祥事の前の定期検査のやり方と、不祥事後の定期検査の変化がどうなのかという説明の後、保安院から説明をもらったかどうか。
  - ・ 定期検査とは、具体的に何をやっているかというあたりを知らないと理解できない部分があるのではないか。
- 委員意見
  - ・ 制度がこうなっているから止めるというよりも、止めざるを得なくて点検が延びているという感じがある。現状に対して、どうしたいのか、実際がどうなのかがわかっていないと、一般の議論としてはなかなか見えてこない気がする。
  - ・ 高経年化も含めると時間がたりない。検査をしっかりと説明して欲しい。
  - ・ 定期検査に関しては、計画の期間に対して、いろんな事象による検査の追加で、どうなるのかというような説明があればわかりやすいのでは。
  - ・ 1回おさらいをして、東電事件以前の定検のあり方と、現在のあり方、今後どう持っていこうとしているのかという、さわりあたりをやっておく必要があるのでは。
  - ・ 定検の計画に対して、その通りになされているのかということと、初期の事と比較してどうなのか、どういうことが起きていて、今後どうなるのかというようなことがわかればいいのでは。
  - ・ なぜ延びているかという、内容を聞きたい。
  - ・ 任期が変わる前に、この件については聞いておきたい。
  - ・ 定検に関しては、だんだん一般の人が理解しにくい状況になっているように感じるが。
  - ・ 定期検査の部分的な説明は何回か受けたが、具体的な定検の内容というのは知らない部分が多い。
  - ・ 専門的にならず、素人にわかるように説明してもらいたい。
- 決定事項
  - ・ 前回以降の動き
  - ・ 検査制度についての説明

〔第43回〕 1月10日（水）

- ・ 前回以降の動き
- ・ 柏崎刈羽4号機、PLR配管の健全性評価について
- ・ 必要に応じて42回定例会の内容を引き続き

〔第44回〕 2月7日（水）情報共有会議

- 東電より
  - ・ 不祥事より4年経ったことで、4年間の再生活動の取り組みについて所長より説明させてもらいたい。
- 委員より
  - ・ 東電に対しては、新たな課題が見えたのかどうかという報告もあればいいのでは。紆余曲折的な部分なども聞かせてもらえると良い。
- 決定事項
  - ・ 県、市、村、東電、各々15分くらい話してもらい、質疑応答。

- ・ 11月くらいには、各機関の予定を確認し、会場を押さえる。
- ・ 会場は第一希望、市民プラザで確認。

#### 地下探査に関して

##### ➤ 東電より

- ・ 年度内には結果を取りまとめる予定。地域の会定例会でのほうこくは、3月に間に合うのか、4月になるかはまだはっきりしない。

#### 積み残し意見質問について

- ・ 一件、提出があり、東電に対する質問ということで、東電に回答を求める。
- 東電より
- ・ 前回定例会での質問とあわせて、次回定例会にて回答する。

#### 任期を終えるにあたって

##### ➤ 会長より

- ・ 運営委員会の前、30分ほど、市の課長と副会長、事務局で、会の運営について話し合いを持たせてもらった。課長からは、会の運営に関しては、軌道にのっている会であるので、市のほうから新たにこういう風にといいことはないとのこと、運営委員や委員さんから意見・要望等あれば、個別に対応するが、自主活動を尊重するという話だった。  
 どういう思いで活動しているかというあたりを、正副会長で、市長と話をする機会を持ちたいということをして市に要望し、日程調整をしてもらうこととする。  
 会の運営に関して、またアンケートのような形をとらせてもらいたいと考えている。

##### ➤ 委員より

- ・ 運営委員というよりも、この件に関しては全委員でやったほうがいいのではないかと。
- ・ アンケートの配布を次回定例会で行って、集計を11月中旬の運営委員会でまとめられれば。
- ・ 委員だけで話し合う会を持ちたいが、定例会は今後2回ほどの内容は埋まっているので、どうするか。
- ・ 全委員での運営委員会というのはいかがでしょうか。
- ・ オブザーバー無しで、委員だけの話し合いも必要。

##### ➤ 決定事項

- ・ 拡大運営委員会という形で、11月22日（水）に実施。アンケート集計をもとに、会の運営について全委員で話しあう。7時～9時。
- ・ アンケートについては、前年度と同様な感じで作成する。
- ・ オブザーバーに関しては、参加してもらってもよい。
- ・ 通常運営委員会は前半に行う。5時～7時。
- ・ 案内は定例会案内を出す時に一緒に発送。

#### 視点関連

➤ 事務局より

- ・ 次回、12月20日発行。当初の予定ではなかったが、美浜視察・7号機視察・第40、41回定例会の内容が遅くなってしまう為。
- ・ 11月22日（水）通常運営委員会（5時～7時）にて、内容確認。

➤ 視点内容（11月5日発行分）

- ・ 「委員意見要望」→「各委員意見要望」に変更。
- ・ 「公聴」→「広聴」に修正。
- ・ 「計画放射線量超過及び再循環系配管の取り扱いについて質疑応答」→「作業員の計画線量越え及び再循環系配管の取り扱いについて」に変更。
- ・ 第39回定例会部分の「説明内容の項目」を少し上にあげ、「ホームページをご覧ください。」の一文を本文と少し離す。
- ・ 第39回定例会の最初の文章を分けて、わかりやすく。
- ・ 「被曝」→「被ばく」に変更。
- ・ 起震車のナンバープレートは白抜きに。
- ・ 地下探査デモの冒頭の文章をわかりやすく。

その他

➤ 柏崎市より

- ・ 原子力委員会政策評価部会意見募集の概要を定例会にて配布させてもらう。